

学校支援を積極的に進めよう

～PTA活動へのより多くの保護者の参加をもとめて～

西尾市立一色中学校PTA

1 学区および学校の概要

本校は、西尾市の南部に位置し、昭和53年、それまでの一色町の中心部より、三河湾に面した南部に移転して今日に至っている。野球場、グラウンドと6万平米以上の広い校地は、周囲を防風林に囲まれ、敷地内のいたるところに多くの木々が生き茂っている。近くには、一色特産のウナギの養殖場やカーネーションのハウスが点在している。本年度の生徒は、686名。21学級（内2クラスは特別支援学級）。校訓「自立、協同」のもと、社会人としての基礎・基本(自立)、人とともに生きる思いやりの心(協同)の育成を目指して、日々、学業、部活動に取り組んでいる。

2 研究のねらい

本校のPTA活動には、年間を通して多くの活動があり、そのいずれも、子ども支援、学校支援につながる意義深いものである。しかし、保護者のPTA活動への参加状況は十分に満足いくものではなく、学校を支援する活動という意識をもっと保護者に伝えていく必要性を感じた。そこで今年度は、PTAの活動を見直し、保護者のさらなる意識改革に挑戦し、まずは、行事や活動への参加率をこれまで以上に高めていくことを目標に据えた。



3 研究の実践

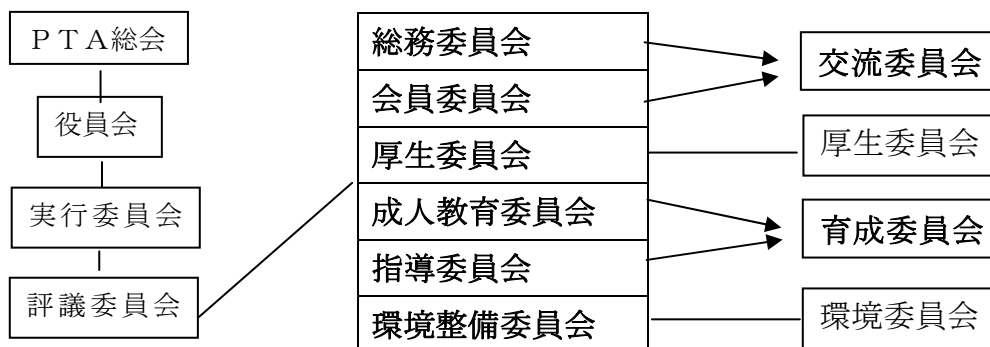
(1) PTA組織の再編成

本年度より、一層のPTA活動の活性化を図るために、これまでの6委員会を合理的に統合し4委員会にした。各委員会では、委員長を一名、副委員長を二名配し、企画の段階から十分な話し合いと委員を統括するリーダーシップ力を高めた。これにより以下に掲げるPTA活動を、より円滑に効率よく実施できると考えた。

☆これまで(27年度まで)の組織



☆今年度



(2) 学校行事に絡めた特色あるPTA活動

一色中学校では、体育祭(体育大会)や文化祭(合唱コンクール)には、非常に多くの保護者が来校、参観する。しかし、PTA活動となるとやや参加率が下がる。学校での子どもたちの様子には、かなり強い関心があるが、保護者の参加意欲を高める内容やPRがまだまだ不十分であること、また、PTA活動に積極的に参加しようという意識も低いように思われる。そこで今年度は、学校行事とP

T Aの活動をできる限り同じ日に実施し、保護者の関心をより高め、積極的に参加しようという意識を高めたいと考えた。

(3) 保護者への参加意識を高める手だて

今年度は、P T A活動への参加意識を高めるために以下の手だてを実践した。

ア P T A活動の内容を学校行事とタイアップさせることによって参加意欲をかきたてる。

イ これまで以上にP T A役員、評議員がリーダーシップをとり、活動の活性化を図る。

ウ 保護者へのP R活動を強化する。

4 研究の実践

(1) 学校行事とタイアップした行事・活動

ア 親子ふれあい奉仕活動

8月20日、土曜日に「ふれあい奉仕活動」が実施された。9月上旬の体育祭(体育大会)のため、親子で校内の除草、樹木の剪定などを行う活動で、本来は学校行事だったが、昨年度より活動日を土曜日にし、保護者の協力も得て行った。昨年度は、天候の関係で日程が変わり平日になってしまったこともあり、当日の一般保護者の参加は若干名となり、「親子ふれあい」というには程遠いものになってしまった。本年度は、評議員(P T Aの地区代表)会などで保護者へ呼びかけ、P Rをしっかり行った結果、80名以上の一般保護者の参加を得た。当日はかなり暑い日だったが、親子で汗を流しながら奉仕活動に取り組む姿が見られた。



イ P T A研修会

昨年度の研修会は、評議員へのアンケート結果より日帰り研修旅行を企画したが、結局、参加者が集まらず中止となった。本年度は、学校行事である「一流の指導者に学ぶ会」…(テレビチャンピオンの食品サンプル職人選手権で優勝した竹内繁春氏による講話と実演)の講演の後に、食品サンプル作りの実習をP T A研修会として実施した。研修会では、多くの保護者の参加があり、楽しい時間を過ごすことができた。



5 成果と今後の課題

本年度のP T A活動には、全般的に昨年度以上の保護者の参加は得られたが、やはり子どもたちとのかかわりの薄い行事では参加率がやや低めであった。今後もそうしたP T Aの活動が、子どもたちの成長を支援するものであり、意味あるものであることをしっかり伝えていくことが必要である。

どの活動内容も充実してきているので、P Rにも今年度以上に力を入れたい。また、これまで学校行事に関わるP T A活動は、学校主導型だったが、本年度は、P T A役員や評議員の活躍の場が増え、リーダーシップがとられるようになってきた。まずは、P T Aのリーダーから意識を変え、学校と共に活動に当たる空気をさらにつくっていききたい。来年度は、それぞれの行事、活動での問題点を改善し、より保護者が意義を感じ、意欲的に参加できるようにしていきたい。そして、P T A活動が、子どもたちや学校を支援する大きな力となるよう今後も積極的な取り組みを行っていききたい。